



## 残雪の上を走り

### 舞いあがるたこに一喜一憂

子供は風の子、元気に外で遊んでほしいという願いから、全町たこあげ大会を開催してこととして21回目。3月1日は、追風を受ける絶好の天気に恵まれ、米代川河川敷に1チーム5人で参加。手づくりのたこの糸を引いて硬めの残雪の上を走り、天高く舞いあがるたこに一喜一憂していました。予選、決勝トーナメントの結果①駅前B、②朝あけB、③駅前Aとなりました。

#### 人口と世帯数

(住民基本台帳による)

2月28日現在	(前月比)
総人口 24,968人	(19人減)
(出生 8人	転入 23人)
(死亡 12人	転出 38人)
男 12,150人	(10人減)
女 12,818人	(9人減)
世帯数 7,298世帯	(4世帯減)

六十一年三月定例町議会は、三月八日から二十日

まで十三日間の会期で開かれます。議会は初日に

町長の行政報告と、提出議案の大綱質疑が行われ

たあと各常任委員会に付託、十、十一の両日は一

般質問、十二日から各常任委員会、最終日に本会

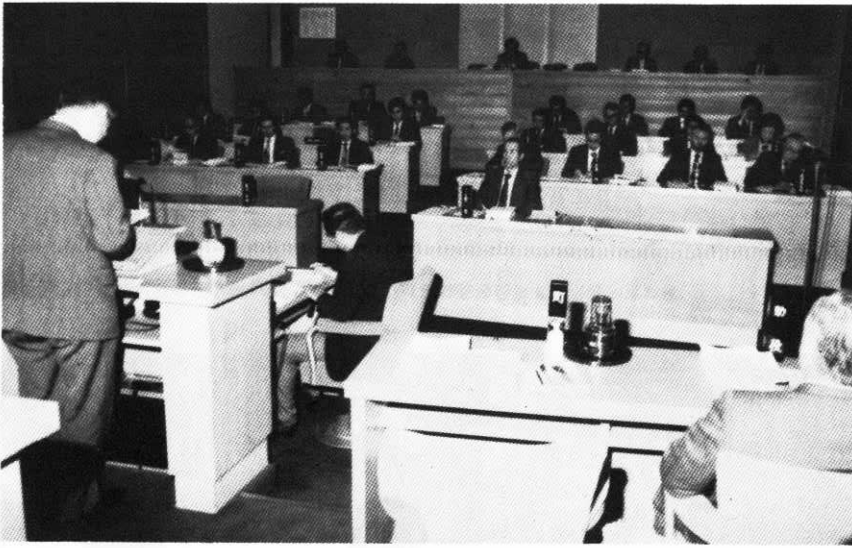
議を開いて閉会する予定です。出川町長が述べた

行政報告は次のとおりです。なお決定した議案は

四月一日付広報で報告します。

# 行政報告

## 3月 定例議会



### 豪雪で雪害対策本部を設置

〔町民課〕：恒例の消防出初式は、関係者多数が参加して行われ、火災など災害防止に団員とともに、一層の努力を決意しました。

雪害対策では、一月上旬はおだやかな日々でありましたが、中旬からの豪雪のため一月二十九日に雪害対策本部を設置し、被害防止に努めました。屋根の雪降り作業中の転落事故による死亡者一人、ケガ五人、鶏舎の一部倒壊などの被害が出ました。

### 献血事業は 目標を上回る

〔保健衛生課〕：国保事業では、保険給付の適正化を図るため、レセプトの点検を強化し▽第三者行為の医療機関との連絡▽被保険者の資格の得喪▽擬制世帯▽退職者医療の資格確認：の事務処理の適正に努めます。

保健事業では、特に三年以上の未受診者を対象に、保健指導員の協力を得ながら、積極的に健康意識の向上と受診を進めました。

今年度の受診実績は次のとおりです。

■がん検診▽胃がん検診二、八一〇人（前年度二、三七四人）▽子宮がん検診一、二五六人（同一、一六四人）

■一般健康診査▽一般診査二、一〇七人（同一、四六〇人）▽精密診査八、一人（同七八六人）



献血事業は、二月末現在で一、一九七本の実績。目標を一一七本上廻りました。

浄化槽法が、昨年十月一日に施行され、町内三三九基の浄化槽の保守点検、清掃などの許可業者に対し、指導の強化に努めています。

### 転作精算額は一七六、四一九千円

〔農林課〕：六十年度転作奨励金の精算総額は、一七六、四一九千円で三月十日に支払います。

町の水稻の作況指数は、一〇五で十町当たり六〇七ポ、収穫量は一五、四〇〇トと農水省から発表されました。

廣巣町食料供給基地推進大会は百六十人余りの参加を得て開催。今年度の総括と六十一年度の指針について、熱心な討議がなされ今後の農業振興に多くの示唆をえました。

農業災害復旧事業は、六十年度事業として、農地復旧一八カ所、農業施設復旧二六カ所は、三月末まで完工の見込みです。また未着手の三〇カ所は、六十一年度早期発注に努め、一部は秋の収穫後に発注予定で作業を進めています。

普通林道立又線は、本年度分一、〇三四町、峰越連絡林道前山滝の沢線の本年度分一、九三六町が完成し、この二月から供用開始しております。

野兎などによる農林産物被害防止のため、三月二日から一カ月間の許可を受け有害鳥獣駆除を実施します。

### 湯の岱温泉は、五・八%の増

〔商工観光課〕：湯の岱温泉の利用状況は、昨年四月からこの二月末現在の営業日数は三二二日で、入浴利用者は四七、〇七三人となり、一日平均一五一人（前年同期比五・八%増）です。

中小企業振興資金制度（マル鷹融資）の利用状況は、一月末現在で五六件、一三九、五五〇千円、利用残高一六四件、二四五、八四四千円となり、預託額に対し三・五倍の利用額になっています。

出稼者互助会は、三八八人（前年同期比一三・六%減）となっております。

秩序のある小売業の事業活動を確立するために、三月一日付で「中規模小売店舗出店指導要綱」を制定しました。現在、出店を計画されている本間物産株式会社（酒田市）については、今後、商業団体との間で相互に調整が行われることになりました。

### 太田・川口線は用地買収へ

〔建設課〕：二月末の工事発注件数は一一一件、五四〇、〇四三千円で、工事中は災害復旧工事が八件、道



路新設工事は坊沢前山線の四工区。五十九年度から継続事業の橋梁整備事業・互助岱橋は、今月中に桁製作架設などの工事発注を予定しています。

都市計画街路事業太田川口線（あけぼの町）の用地取得については、関係者二人のうち協力者が二〇人、この内訳は完了済者が十人、六十一年度予定者が三人、六十二年度以降七人。道路関係は二人全員が協力の申し入れて、六十年二人が完了、残りは六十一年度の予定です。

除雪の稼働延べ時間は二、九一〇時間、排雪用タンク借上げ延べ九八台、綴子川、旧貯木場雪捨場ブルドーザー借上げ九五台などの支払額は、二月末で約三八、〇〇〇千円となりました。

### 南中学校舎の進捗率は53・15%

〔教育委員会〕：南中学校の建設工事は順調であり、二月二十五日現在の進捗率は、校舎五三・一五%、屋内運動場六七・七四%、機械設備工事が三四・四%、電気設備工事一八・六二%です。

第二十四回町民スキー大会は、二月十六日開催され選手、役員、応援団など二千五百人の参加で盛会裡に終了しました。

〔水道課〕：上水道事業の業務量は、加入給水件数三、〇一二件、給水量八九七、〇〇〇立方メートル、年度当初計画より八件三九、〇〇〇立方メートルの増を見込んでます。一方、経理状況は当年度純利益七、六六三千円を見込んでます。

〔企画財政課〕：鷹角線を将来にわたって存続させ、経営の安定化対策として民間から寄付金を募集することになり、この対応として鷹角線運営基金鷹巣町協力が発足し、鋭意その準備をすすめています。民間募金は二カ年にわたるもので、本年は三月二十二日（土）午後二時から、鷹巣体育館で祝賀パーティーを行う予定です。

鷹巣町でも三月一日から

### 中型店の出店には届け出が必要

町では、三月一日から「鷹巣町中規模小売店舗出店指導要綱」を制定しました。

これは、店舗床面積五百平方メートル以下の中型小売店が、無秩序に出店するのを調整するためのものです。

この要綱に従い、大企業者（資本金が一千万円を越え、従業員が五十人を越える）が、小売業を営む場合は二百平方メートル以上、五百平方メートル以下。大企業者以外の者が小売業を営む場合は三百平方メートル以上、五百平方メートルの床面積を持つとする場合、設置者と出店者は、建築確認などの五カ月前まで、次の事項を町長に届け出てください。

- 店舗面積
- 開店予定日
- 休業日数
- 設置者の住所と氏名（名称）
- 出店者の住所と氏名（名称）
- その他

このほか、出店の計画内容の事前説明なども必要です。

このことについての詳細は、鷹巣町商工観光課（六六二一一一一内線一五〇、一五一）へおたずねください。

やる気ある農業めざし

# 食料基地大会を開く

## 6部門で11人が体験発表



食料基地推進大会  
鷹巣町食料供給基地推進大会

自立農家の育成と、農畜産物の産地化をめざして、こととして三回目の町食料供給基地推進大会が、二月二十五日午前九時三十分から役場三階大会議室で開催されました。

大会には、やる気ある農業を求めて、町内の中核農家から百四十人余りが出席しました。

出川町長は「県内で消費される野菜の半分以上が県外産である。農家は捨て作りをやめ、もっと農地を見直すべきだ。賃金労働に向う就労構造を改め、農業所得を高める施策を考えなければならない」とあいさつ。

来賓の高橋北秋田農林事務所長は「米の一等米比率は八八・七％で前年度を上廻っているが、地域格差が大きい。これは意欲減退の表れではないか。全県全町的なレベルアップが必要だ」と激励されました。

町の農業振興施策について基調報告を行ったあと、自立経営者として成果を収めている六部門十一人の優良農業経営者が事例発表を行いました。発表者は次のとおりでした。

〔複合経営部門〕▽水稲十アム スメロン十和牛十シイタケ▽坊沢・佐藤光臣

〔稲作部門〕▽水田基盤整備と我家の稲作▽小ヶ田・中嶋力蔵

〔畑作部門〕▽転作大豆に取り組んで▽脇神・花田正

▽アム スメロンを栽培して▽掛泥・村上金治郎

▽長いもの栽培▽岩脇・久留島豊治

▽夏秋キュウリを栽培して▽藤株・畠山勝雄

▽やまのいもを栽培して▽二本杉・畠山喜久雄

〔特用林産部門〕▽椎茸栽培に取り組んで▽深沢・佐藤積司

〔畜産部門〕▽肉牛專業経営を目標して▽高野尻・浪岡勲

▽酪農経営三十年▽糠沢・米沢真子

〔加工部門〕▽ナス加工に取り組んで▽坊沢・戸島キクエ

〔稲作部門〕▽水田基盤整備と我家の稲作▽小ヶ田・中嶋力蔵

〔畑作部門〕▽転作大豆に取り組んで▽脇神・花田正

▽アム スメロンを栽培して▽掛泥・村上金治郎

▽長いもの栽培▽岩脇・久留島豊治

▽夏秋キュウリを栽培して▽藤株・畠山勝雄

▽やまのいもを栽培して▽二本杉・畠山喜久雄

〔特用林産部門〕▽椎茸栽培に取り組んで▽深沢・佐藤積司

〔畜産部門〕▽肉牛專業経営を目標して▽高野尻・浪岡勲

▽酪農経営三十年▽糠沢・米沢真子

〔加工部門〕▽ナス加工に取り組んで▽坊沢・戸島キクエ

### 船員遺児に援護金が支給されます

仕事で商船に乗り、殉職された船員の遺児の方がたへ、援護金が支給されます。

中学義務教育終了までの期間で、一人一ヵ月六千円、別に小学生には入学したとき、記念品として三万円を支給します。ただし生活困窮者に限りません。

申請と照会は、東京都千代田区麴町四―五 海事センタービル内 日本殉職船員顕彰会（☎〇三―二三四―〇六六二）へ連絡がいます。



### 町長日誌

出川 禮一

2月16日～28日

16日(日) 数年ぶりに好天に恵まれた町民スキー大会は、小、中学生を主体に競技が行われ、応援者を含め最大の人出であった。ただし近年は一般の参加が少ない。水準の高い競技内容が一因との声もある。

17日(月) 婦人リーダー研修会が中央公民館で行われた。地域、団体、企業などリーダーに望む今日的期待は大きい。婦人団体のリーダー(幹部)ほど、様々な行事や会合を

行い、奉仕活動などを続けている者はないと思う。

この日、町の基本構想審議会長から、かねて諮問中の総合発展計画の振興基本構想の答申を受けた。

20日(木) 県町村会定期総会が秋田市で開かれた。席上、二〇年永年勤続で役場職員四人も表彰を受けた。

公務のため出席できなかったが、県立鷹巣農林高校定時制課程が、三十八年の歴史に幕をとり閉校となった。戦後の社会的要請にもとづいて、働く青少年の教育に情熱を傾けられた関係者、ならびに卒業生に敬意を表するとともに、一層のご活躍を祈念します。

21日(金) 町行政改革審議会が開かれ、一年間慎重に検討いただいた、方向づけについて提言された。

25日(火) 食料供給基地推進大会。この大会は年一回開かれ、優良農家の事例発表と講演、協議などであるが、消費動向にマッチした作目の生産は、量・質とあわせ、米単

作の当町でも絶対必要なものである。

26日(水) 全町協力委員会議。町と住民を結ぶパイプ役として活躍いただいている委員の、一年間の労をねぎらうとともに永年勤続者を表彰。

27日(木) 秋田県農林統計協会北鹿支部協議会に参加した後、秋田に向って秋田市在住大館北秋会に出席した。県都で活躍中の方がたと久しく懇談した。

28日(金) 森吉町外四カ町村病院組合議会定例会に出席。

# 児童手当法が改正

## 一人目の子供にも支給される

### ことしの六月一日から実施

児童手当は、国・都道府県・市町村と事業主が費用を持ちあい、児童を養育する人に児童手当を支給することによって、家庭生活と次代を担う児童の健全育成、資質の向上を図ることを目的としています。

また、特別給付は、児童手当の役割を補完するものとして被用者と公務員、日本国有鉄道の職員のうち、一定要件に該当する方に事業主の負担により支給されるものです。

#### 新しい児童手当制度は

今回の児童手当の支給要件に係る改正は、児童三人以上養育している者を対象としている現行制度を改め、児童二人以上を養育している者を対象としたこととす。

より簡明に言えば、第三子から支給していたものを第二子から支給するというに改めたこととす。

また、手当の支給対象となる期間を現行制度では義務教育終了（中学校卒業）時までとなっていたものを、義務教育就学（小学校入学）時までと改められました。

なお、新制度は昭和六十一年六月から実施されますが、段階的に支給対象が変わり、昭和六十三年四月から制度が完成されます。

#### 支給はどうなるか

第三子以降の児童に対する手当の支給期間が従来の義務教育終了前から義務教育就学

前（満六歳に達した日以後における最初の3月31日以前の児童）に短縮されたことに対し、現行受給者に対する激変緩和措置として三年間で制度が完成し、六十四年度からは平年度化することになります。

■一年目（昭和61年6月1日から昭和62年3月31日）

▽第2子分は、昭和六十一年六月一日現在で満二歳未満

▽第三子以降分は、義務教育終了前まで

■二年目（昭和62年4月1日から昭和63年3月31日）

▽第2子分は、昭和六十二年四月一日現在で満四歳未満

▽第3子以降分は昭和六十二年四月一日現在で満9歳未満（小学校三年生以下）

■昭和六十三年四月一日からは、第二子以降義務教育就学前の児童が対象になります。

#### 請求の受け付け

四月一日より受付開始いたします。詳しくは町役場福祉係へ（☎六一一一一内線二二五）



### 鷹角線存続を願って

## 民間の基金協力記念パーティーを開催 3月22日(土)



国鉄の赤字ローカル線として廃止されることになった阿仁合線及び角館線は、4年間にわたる協議の結果、ことしの10月から鷹角線として、第三セクターによる秋田内陸縦貫鉄道株式会社が、経営を引き継ぐことになりました。また、昨年10月には比立内・松葉間（29

・3㌔）の工事も再開され全線開通に向けて大きく前進しました。

しかし、開通後は営業努力をしても長期にわたる欠損が見込まれており、沿線町村でも5カ年にわたって基金の予算措置を決定しましたが、同線の将来の存続を願って民間による基金が行われることになりました。

このため、当町では鷹角線運営基金鷹巣町協力を結成して、次のとおり記念パーティーを開催することになりました。パーティーの収益は基金にあてることになっていきますので、たくさんの町民が鷹角線存続にご参加くださるようご案内いたします。

- ◆基金協力記念パーティー 3月22日(土)午後2時から
- ◆場 所 鷹巣体育館
- ◆パーティー券 1枚 1万円
- ◆券のお求め 町内自治会長、各農協、商工会、役場（商工観光課）へ3月19日まで

読書感想文・体験文コンクールで

十四人が特選に選ばれる

応募作品は二五三三



作品の審査にあたられた山城勇幸先生（鷹巣中

教諭）からは「感想文は作者との対話が必要である。また読書をおして人間の生き方をつかみとらなければいけない。本を選ぶには流行よりも良書求めてほしい」などの指導がありました。

また、親と子をつ結び心の豊かさを求めて、鷹巣親子読書会の畠山将之くんと美也子さん、西小親子読書会の大川千鶴子さんと比砂子さんが、朗読と感想文を親子リレーで発表してくれました。

よい本を進める読書推進大会と、第二十一回読書感想文・第五回読書体験文コンクールの表彰式が、三月一日午後一時から中央公民館で行われました。

テレビの普及やファミコンで遊ぶ機会が増え、読書はなれが心配されていますが、こどもの応募作品は感想文の部が二百三十点、体験文の部が二十三点でした。

す。

■感想文の部

- ▽いまはたまさき（西小一年）
  - ▽つやよしかず（西小二年）
  - ▽戸沢真澄（西小三年）
  - ▽三沢洋（鷹小四年）
  - ▽野呂和代（西小四年）
  - ▽松尾雅子（東小五年）
  - ▽永井千賀子（西小六年）
  - ▽菊地新子（鷹中二年）
  - ▽日下部公美（鷹中二年）
  - ▽鈴木江里奈（南中三年）
  - ▽佐藤美保子（鷹巣農林高三年）
- 体験文の部
- ▽今島寿樹（西小四年）
  - ▽袴田美香（東小六年）
  - ▽長岐直介（一般七日市）

3月21日(金)の

ゴミ収集は休みます

3月21日は、祝日のためゴミ収集は行いません。集積所にゴミを出さないようご協力を願います。

おばあさんたちと  
「昔の遊びっこ」で楽しむ



町青少年育成町民会議太田地区推進委員会では、子供たちの健やかな成長と、祖父の正月の遊びを伝えようと、3月2日太田児童館で昔の遊びっこ、を計画。児童40人余りは、ヤギ餅の遊びっこ、を計画。児童40人余りは、ヤギ餅の作り方や、おて玉、羽根つき、パッチうち、ケン玉など、慣れない手つきながらおばあさんたちの指導で楽しんでいました。

日本防災協会から町立中央保育園に

# 鼓笛セットが プレゼント



日本防災協会（笹川良一会長）では、防火意識を高めるため、町立中央保育園に鼓笛セットをプレゼント。園児は大喜びしていました。

昭和五十九年十月に中央保育園に、幼年消防クラブが結成され、園児たちは火遊びをしない、家では火の仕末について注意、あいましようと、防火についての話し合いを行うとともに、鷹巣阿仁消防本部を見学、慰問するなど、防火の認識を深めています。

このため、昨年の十月には幼児用ハンテンが贈呈されましたが、全国組織が五年間を迎えたことから、二月二十一日岡山市で行われた幼年消防全国大会で表彰状と鼓笛一式が贈られたものです。

二月二十五日鷹巣保育園で行われた伝達式では、木村秀夫消防本部長から園児代表の千葉雄介くん（六歳）に表彰状が贈れ、ピカピカの鼓笛も披露されました。贈られた鼓笛セットは指揮棒のほか、小太鼓四個、中太鼓四個、大太鼓二個、シンバル二個、ベルリブ一個、アンカ二十五個、ウェスト四十着、ベレー帽四十個で五十一万六千三百円相当になります。

同保育園では、園児たち

の保育学習をとおして、鼓笛演奏の指導を行うことになっており、情操教育にも役立つと、関係者から感謝されています。

## 味と香りを届ける 「ふるさと会」が募集

遠く離れている親戚や知人に、田舎の味と香りを届けようと、町では、ことしも「ふるさと便」の会員を募集しております。人情豊かなふれあいを求めて、お申し込みください。

### ■発送品目は

▽五月：しどけ、あいこ、ミズ、アスパラ、なめこ、さくら肉味噌づけ、他

▽八月：アムスメロン、枝豆、とうもろこし、乾しいたけ、他  
▽十一月：キリタンポセット、新米

▽十二月：切モチ、鏡モチ、長いも、とんぶり、生しいたけ、つけ物、他

### ■コース

▽山：十一月と十二月で一万円  
▽川：八月・十一月・十二月で一万五千元  
▽緑：五月・八月・十一月・十二月で二万円

### ■申込みは

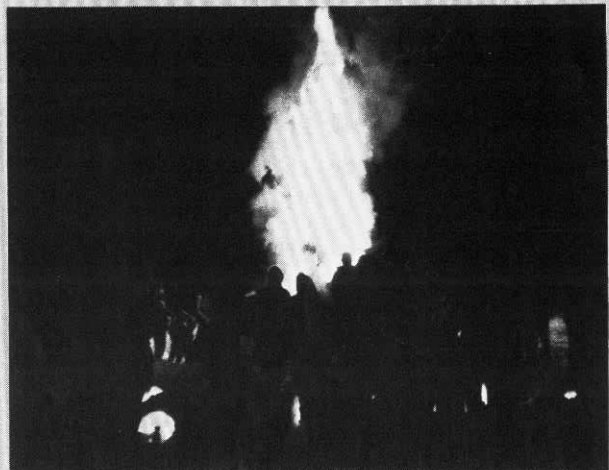
四月三十日まで、町役場農林課（☎六二一一一一：内線二五〇・二五二）へ

## 無病息災を祈って

### 「かまぐらの権五郎一」



旧暦の1月14日の小正月の伝統行事として、葛黒に古くから伝わる「火祭りかまぐら」が、2月22日午後7時から林業センター裏で行われました。クワの木に稲ワラをくくりつけた中央の神木に火がともされると、絵出の部落民は「かまぐらの権五郎一」と大声で叫び、一年間の無病息災を祈っていました。



# 地域の教育力を どう深めるか

## 学社連けい懇談会



「地域の教育力をどう深めるか」というテーマで、子供たちの健やかな成長を願い、学校や地域の役割について話し合う学社連けい懇談会が、二月十九日中央公民館で開催されました。

懇談会には、町内の小中学校長や教諭、各地区公民館長、PTA、子ども会世話人など三十人余りが出席して、活発な意見がかわされました。

中島教育長は「学社連携の重要性はいうまでもない。具体的な本音を出していただきたい」とあいさつ。三沢綴子小学校長から「地域の持っている文化遺産や資源、人材の活用」などについて話題提起されました。

## 郷土芸能の伝承や 郷土の歴史探訪も

恵まれたふる里を見直し、郷土に誇りをもとうということから、地域の協力をえて郷土芸能の発表や、クラブ活動で伝承指導されている例も見られます。

また、郷土の歴史を探ることや、営林署、建設省の配慮で森林、河川学習などを実施しているところもありました。

中学校では、「地域の教材をビデオに収録して活用しており効果があがっている。郷土にまつわる自然や史跡のテーマがもっとほしいものです」と語っていました。

昔は、町内ごとに外に出て集団で遊んだものですが、いまでは少人数でテレビゲームなど家の中で遊んでいるケースが目につきます。

このため、「むかしのあそび」を計画しているところが多いようでした。公民館でも、昔の遊び「少年教室」を体験させようと計画をたてているが、学校と連携を取りながらの開催が効果的である。さらに祖父母を、PTA活動に組み入れるのも好評だということでした。

地域の協力を得て、子供会で体力づくりに取り組み、毎週日曜日の早朝に「歩こう会、走ろう会」を実施しているところや地区のスキー大会に児童・生徒を参加させ交流を深めているところも見つけられます。

しかし、一面では「特定のスポーツが過熱さみであり、健康管理上に問題があるものもあり、均衡のとれた体力づくりに理解してほしい」という意見も出されました。

子供の「いじめ」の問題も、子供の多忙からくるのではないだろうか。地域に帰しふれ合いを大切にするとともに、子どもの休日があればという、ユニークな発想も出されました。

## 地域ぐるみで楽し いスポーツ活動を

## 夜間当番医(夜間診療)の日程表 (午後6時30分～9時)

3月	曜日	医療機関名
16	日	戸嶋産婦人科医院
17	月	近藤医院
18	火	奈良医院
19	水	藤原医院
20	木	佐々木産婦人科医院
21	金	佐藤外科消化器科医院
22	土	盛岡外科医院
23	日	戸嶋医院
24	月	鷹巣病院
25	火	戸嶋産婦人科医院
26	水	近藤医院
27	木	臼田医院
28	金	奈良医院
29	土	北秋中央病院
30	日	藤原医院
31	月	佐藤外科消化器科医院

急患以外は受けません。

## 『家出は悪への第一歩』

### 家出少年発見保護活動強化期間

3月18日～4月17日(1ヵ月間)

- ▼春先は、進学や就職等に伴う環境の変化や心理的、動揺などから家出少年が多くなります。
- ▼少年の家出や非行を未然に防ぎ健全な育成を図りましょう。

「ちょっと待て

君を呼んでいる母の声」





## 大学院課程めざして勉強

高齢者の生活体験や学習・研究活動で、生きがいの創造につとめようと、各団体の協力で「高鷹大学」を開設。2月20日午前10時から中央公民館で開講式が行われました。同大学は、町内の人材を活用し、幅広く学習を深めるもので、年6回受講すると大学課程、三年間学ぶと大学院課程の卒業証書が交付されるとあって、70人余りの受講生は熱心にメモを取っていました。

行政に依存しがちな福祉活動を、住民の思いやりある心で手助けしようと、2月8日から21日まで、町内8カ所を巡回して「福祉座談会」が開催されました。座談会には、お年寄りのほか婦人や青年などが参加。健康で長生することと、高齢化社会を支えるボランティア活動に話題が集中。身近な親戚や地域住民で仲間を介護できるよう意識の高揚はかろうと意見が続出。

## 思いやりある心で住民福祉



## 五輪出場の望さん里帰り

一昨年のロスアンゼルスオリンピックに水泳選手として出場した、今泉出身の簾内望さん（専修大学二年）は、春休みを利用して里帰りし、町民の声援に感謝して2月22日出川町長にあいさつに見えました。簾内さんは2歳まで今泉で過ごし、その後、父の仕事の関係で上京、小学1年から水泳を初め、百俣背泳で短水路日本新を樹立。晴れのオリンピック代表になったものです。

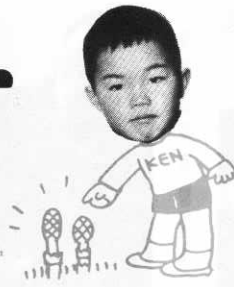
この春、学校に入学する子どもたちを祝って、入学おめでとう大会が、3月2日午前10時から鷹巣小学校

体育館で開かれました。会場には、入学予定の子どもに付き添いの父母600人余りが集まり、おにいさん、おねえさんたちの、劇やバレエ、警察署の交通安全教室など熱心に見学。「早く学校に行きたいな」と、雪解け後の入学が待ち遠しいという様子でした。

## 入学が待ち遠しいなあー



# の広場



竜森保育園  
あかし ともあきくん (6歳)



小学校入学前は、とても長く感じられたのに、小学校、中学校、高校の十二年間はあっという間に過ぎた感じがします。  
高校入学時は、高校生活に早く慣れ、元気に通学してくれればと念じていましたが、もう就

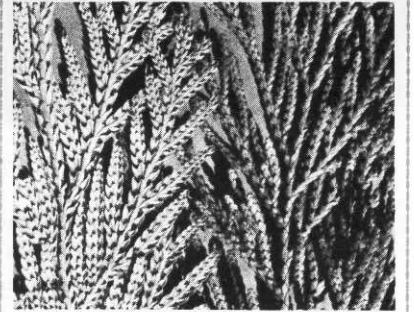


松葉町  
明石 和子(42)

## 陰ながら娘を応援

## 今回のテーマ 『就職を祝って』

## 対談 親の意見・子供の意見



(ヒノキ科)

サワラ

庭木や垣根等に用いられている常緑高木。種々の園芸品種に富む。葉に油脂が多いので生葉でも燃えるので火や火事にはご用心。材質はヒノキより劣り、香りがなく白色で軽い。

(南小学校 畠山 益穂先生)

職の心配です。

二年前に長女を東京に就職させていたので、地元への就職を親として希望しましたが、娘もいろいろ悩んだすえ、東京へ就職することになりました。娘が自分にあつた職業を選んだと思うので、親にとっては何もいうことはありません。

中学、高校と六年間剣道部で、頑張ってきたので、多少は辛抱強いところもあると思っております。

社会人として巣立っていく娘に、一抹の寂しさと都会生活にたいして不安を感じていますが、



## 若い年齢層は田舎に家を購入

東京都品川区 長崎 健(48)



今の季節には多数の大学生が地方から東京に集散する。昔、私たちが「東京に行け」と言われた時には、再び秋田へ戻ることはないかもしれぬ、という哀しい想いが胸のどこかにあつて、夜行列車津軽号の窓から雪に埋もれている村々の光景をみていた。今の若者たちの気持は、晴れている。自分から東京へ出かけるのであり、従って、故郷は帰るところである。私の

勤める大学では学生の十名のうち六名は地方へ戻って就職することを希望しており、実際に、その半数者が地方に就職する。彼らは胸を張って帰る。こうしたUターン現象は今年も盛んである。このことは、地方での産業、行政、文化の関係者による長い年月の地道な努力によって、東京と地方の生活と文化の落差が縮つたことを証明しているもので、喜ぶべきことと思う。

また、若い年齢層に田舎の家を購入して妻子を住まわせて週末にそこに帰るといふ生活パターンがみられ始めている。これは週休二日制と高速交通網の整備によって、今後もっと増えてくるだろう。いいなあ、と私も思う——残念ながら、鷹巣町は少々、遠すぎるけれども。

▽長崎さんは坊沢・長崎佐太吉さんの長男で、中央大学文学部助教として活躍しております。



竜森保育園  
はたけやま えみこちゃん(6歳)



# みんな



鷹巣農林高等学校  
3年 今川 順

## 高校生活を反省

陰ながら娘を応援していきたい  
と思っております。体を大切に、  
一生懸命仕事に頑張ってください  
と願っております。

学生生活最後の卒業式も終り、  
日頃ぼんやりしていた私も、思  
いを新たにせざるをえません。  
卒業、そして就職、卒業こそ  
人生への門出であり、門出には  
それにふさわしい決意が必要で  
す。そのためには、まず三年間  
の高校生活を深く反省しなくて

## 法報のこぼり

### 自炊生活

親元を離れ  
て学生生活を

送る人、家族を残して単身赴任  
する人、と春は新しく一人暮ら  
しを始める人が増えます。  
勉強や仕事に追われる毎日  
です。自炊の食生活は無理な注  
文ですが、出来上りのおそう菜  
などもうまく利用しながら、バ  
ランスのとれた食事を取り、自  
分の健康を自分で管理すること

はならないと思います。  
私にとって高校生活は悔いの  
ないものだったのだろうか。自  
分の力を精一杯出しきり勉強し  
ただろうか。

「後悔先に立たず」というこ  
とわざがあります。私が安易  
な方へ走ってしまったことは、  
本当に悔いても悔い足りない気  
持です。

現在、私には自信というもの  
がありません。しかし四月から  
県職員として就職するため、今  
からすこしでも、常識を身につ  
けようと毎日、新聞のすみずみ  
目を通していきます。

しかしそれだけで自身が養え  
るものではありませんが、私の  
力がすこしでも社会に役立てる  
ことができるように、がんばっ  
ていきたいと思えます。

が必要です。

特に朝は牛乳一杯でも、とに  
かく何か口に慣れる習慣を。牛  
乳にチーズ一切れ、さらにゆで  
卵と刻みキャベツでも加わるよ  
うになればしめたものです。

外食するときは、野菜類の組  
み合わせを中心に選ぶと栄養の  
バランスが取りやすいようです。  
牛乳、チーズ、ヨーグルトな  
どの乳製品、くだものなどは冷  
蔵庫にさらさないようにして、  
気の向いたときに食べるよう  
にしましょう。

昭和30年代の道路は、舗装率も悪く、村落  
を結ぶ主要道路でさえ、冬道を車が通るとい  
うことは困難で、ようやく雪が消えても、い  
たるところがぬかるみ、写真のような一進一  
退で大変だった。いまでは、道路が整備され  
たことと除排雪が完全で、どんな大雪でも交  
通が分断されることはない。



## たかのすの昔

# おしらせ



一線美術会運営委員 九島寮二氏

## 三月の健康相談

三月の健康相談は、次のとおりです。  
成人健康相談は、二十六日です。

時間は、午前九時三十分から午後三時まで。血圧測定のほか尿検査、体重測定など行います。  
また、午前中は健康教育で、老人のボケ予防について午後健康体操など行います。  
場所は中央公民館保健相談室です。

◆ 乳児健康診査は、十八日です。対象は六十年十月十六日から十一月十五日までに生まれたお子さんです。  
◆ 受付時間は、午後一時から一時三十分まで。

◆ 離乳食指導と七ヵ月児健康相談は十八日です。

## 婦人自衛官募集

防衛庁では、婦人自衛官(二等陸士、二等海士、二等空士)の募集をしております。  
応募資格は十八歳以上二十五歳未満の女子で、四月十二日まで受付しております。

詳しいことは、自衛隊秋田地方連絡部(☎秋田二三一五四〇四)または、大館出張所(☎大館四二一一三九八)にお問い合わせください。

## 特産品の開発コンクール

秋田県の新しい特産品の開発とその拡大を図るとともに、商品デザインに対する県民の理解と認識を深めるため、開発コンクールを開催いたしますので、ご応募ください。

募集要領は次のとおりです。

- ▽ 種別 観光土産品(人形、玩具、装飾品)、工芸品(家具を除く木竹工芸品、織物)、菓子食料品(酒類を含む)、陶器、各部門のパッケージ、デザイン。
- ▽ 条件 応募作品は、応募者自身の創造品に限ります。(応募資格は個人、企業及びグループを問いません) コンクール等の入賞作品は除かれます。
- ▽ 募集期間 三月二十五日まで

## 停電のお知らせ

三月の作業停電は、次の地区です。

- ▽ 17日 向黒沢、糠沢(午前八時三十分～午後一時三十分)
- ▽ 22日 舟見町(午前八時三十分～午後一時)
- ▽ 28日 藤株、堂ヶ岳、脇神、上野(午前八時三十分～午後一時三十分)

## 善意

- ▽ 鷹巣遊技組合(組合長・岩本茂夫)から二十万円
- ▽ レンタルショップ・イブから五千円
- 町社会福祉協議会へ寄付金がありました。
- ご芳志に深く感謝いたします。

## 香典返し

このほど次のかたから、香典返しにと町社会福祉協議会へ寄付金がありました。

- ▽ 東横町 小松一夫さんから亡母ヨシエさんの香典返し

- ▽ 掛泥 村上豊吉さんから亡父慶吉さんの香典返し
- ▽ 花園町 相馬久夫さんから亡父多一さんの香典返し
- ▽ 小ヶ田 中島政夫さんから亡父政之助さんの香典返し
- ▽ 岩脇 岩本安雄さんから亡父勝二さんの香典返し
- ▽ 太田 松尾健一さんから亡父三八郎さんの香典返し
- ▽ 材木町 近藤福蔵さんから亡母クニさんの香典返し

## 慶弔だより

2月15日～2月28日

誕生おめでとうございます

- 桜田 慧(淑人 長女)あけぼの
- 福原 朋美(善一 三女)摩当
- 三沢孝太郎(孝悦 長男)前野団地
- 長崎 大介(聖悦 長男)新屋敷町

二人の前途を祝福いたします

- 千葉 浩徳 七日市
- 本城 美樹子 前野

## おこやみ申しあげます

- 佐藤スチエ(77歳) 四渡
- 神成市太郎(71歳) 小森
- 島山 ツル(85歳) 藤株
- 菊地長之助(80歳) 下町